

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第50号

2007年7月

# やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課

編集 かながわ森林インストラクターの会

〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2

☎0465-85-1900

URL: [http://www.ny.airnet.ne.jp/k\\_sinrin](http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin)

## やどりき水源林 定例観察会のお知らせ

毎週日曜日午後1時より1~2時間の水源林をご案内する観察会をかながわ森林インストラクターの会【森の案内人】で行っております。参加希望の方は1時までに水源林ゲート前にご集合ください。費用負担等はありません。なお、夏休み期間中(7/22~8/26)の日曜日は、午前10時半からも行います。集合場所は同じです。

## もうすぐ夏休み 川遊びが楽しい季節になりました



**カジカガエル** 寄沢で聞こえる涼しげな声の主。雄が流れにある石の上で縄張りを宣言しています。指の吸盤がよくわかりますね。

カジカガエルの声が聞こえる寄沢。

水源林に入ってすぐの広場前あたりの寄沢は、水深も浅く、流れも比較的緩やかで、水生生物と会うのにも手ごろな場所です。ですが、梅雨や台風などで大雨が降ると、大きな石も動かしてしまう濁流となります。この場ではそれほどの雨でなくても、上流で大雨のこともあります。流れる水の変化には充分注意して、事故に遭わないようお願いします。

下の写真は、6月30日の水生生物調査の様子と、その時出会った生き物たちです。



ハグロトンボのヤゴ



カジカ サワガニ 等



この子達も夏を待っています。左から ナナフシモドキ、ナシカメムシ、ミルンヤンマの幼虫達。

☆山の斜面に白い葉が目立ってきて、初めてマタタビの存在に気がつきます。花の咲く時期に表面が白くなるのです。ネコ科の動物が大好きな木で、ライオンもゴロニャンとなるなんて面白いですね。

☆同じマタタビ科のサルナシは、一足先に実になっていました。中味がキウイに似ている実は、テンの好物のようです。実が熟す頃のテンの糞には、サルナシの実の皮と種がたくさん入っています。テンがサルナシの実を食べている様子を想像すると楽しくなります。(7月1日)



マタタビ



マタタビの花↓



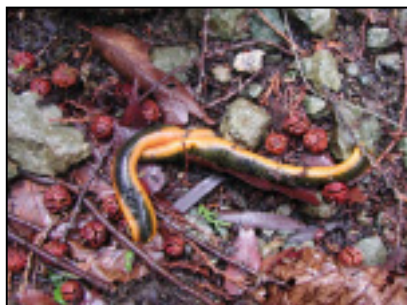
↑サルナシの実

↓ヤマアジサイ

↓サワギク



↓ヤマホタルブクロ



↑これは別の日のクガビル  
2匹いますが、わかりますか。

クガビルがミミズを猛スピードで追いかけていました。ミミズは既のところで水溜りに入り、逃げきりました。あれ？ミミズは水の中でも大丈夫でしたっけ。



←フタリシズカ

最初の花が実になっていますが、もう一段花が咲きました。今年は2段重ねのフタリシズカをたくさん見ます。

### 今月のトピックス

・小雨の降る7月1日に、ヤマビルの被害がありました。前日も報告されましたので、ここもヤマビルが増えてきたのかもしれませんが。吸血すると繁殖能力を持つそうです。吸われたら必ず退治しましょう。雨の日は塩よりライター



火であぶる方が効果的です。

### 来月の見所

・夏本番、昆虫達が活発になります。木の花にもいろいろな虫が集まっています。林道の湿ったところには、カラスアゲハなどが吸水しているのも見られます。林内では、ヒグラシが足元から飛び立ちますよ。